



Index

小さな不快害虫について

突撃！施工現場

季節のムシ暦 (46)

FCCブログ

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

突撃！施工現場②

夏場は蟻について困ったというお問い合わせやご相談を良く頂きます。蟻は一匹が店内に侵入し、餌を見つけるとたちまち行列を作り大量に侵入してしまいます。



ゴキブリほどの見た目の不快さはないと思われませんが、蟻は場所によっては食材などへの異物混入の原因となる事がある為、注意が必要です。

侵入してきた蟻を逐一駆除しようとするのは困難だと思います。そこで対策として、行列を辿り、巣を見つけて巣を駆除する事が最も効果的ですが、お店によっては周辺の環境に自然が多く巣の特定が難しいケースもあります。

その場合、私共では粉剤を使用します。これを外周に散布することで、店内に侵入しようとする虫に対して高い効果を発揮します。蟻以外にもゲジやクモ、ムカデなどの侵入害虫にも効果的です。

また、蟻は行列を作るとその道筋にフェロモンを出し、行列をキープします。そこで出来ている行列を乱し、布巾などで良く拭いて頂くと一時的に侵入を防ぐ事が出来ます。



蟻は小さな隙間からでも、いつの間にか侵入し、行列を作ります。蟻でお困りでしたら是非ともご相談下さい。



小さな不快害虫 ノミバエ・ショウジョウバエ

どこからともなくその姿を現すハエ。

特に体の小さいノミバエやショウジョウバエは食べ物や人の周りを飛び回り、不快感を与えます。

今回は、この特に小さいハエであるノミバエとショウジョウバエについてご紹介します。

まずノミバエはその名の通り、体が2～3mmと非常に小さく、動きがすばしっこいのが特徴です。

また、羽を使って飛ぶ事もありますが、食卓の上や壁面などを素早く走り回る行動も良く見られます。

ショウジョウバエは体長が約2mm、ノミバエと違い黄褐色で赤色の目が特徴です。ノミバエもショウジョウバエもどちらも腐敗したり発酵した動植物（生ゴミなど）から発生する為、室内で大発生しやすいコバエ類と言えるでしょう。

その見た目や、飛んだり、食卓の上などを走り回る様子の不快さは勿論ですが、飲食店に於いては食品への『異物混入の可能性』が最も危惧すべき点だと思います。

この危険性を未然に防ぐ為には、2つの対策が非常に重要になってきます。

一つ目が食品や生ゴミをむき出しにしたまま放置しない事。ノミバエやショウジョウバエは食品や生ゴミから発するにおいに誘引される性質があります。

その為、食品はラップや密閉性のある容器に入れ冷蔵庫や冷凍庫で保存して下さい。生ゴミに関しても、蓋付きのゴミ箱に入れる様にして頂くと効果的です。

二つ目に清掃の徹底です。食材のカスや落ちてしまった食品、食材などをそのままにしていたり、清掃の際に水を床に撒いてしまう事で落ちてしまった食材カスなどが什器下の奥の方へ押し流されてしまうと、その食材カスなどは腐敗をし、よりノミバエやショウジョウバエが誘引されやすい環境となってしまいます。

食材カスなどが落ちた場合は、その場ですぐに拾う事。そして清掃前に什器下に何か落ちたままになっていないかを確認し、落ちていた場合は拾って下さい。

ノミバエやショウジョウバエは勿論ですが今回ご紹介した対策は様々なコバエ類やゴキブリなどのその他害虫の発生予防にも繋がります。是非ともご参考にしてみてください。



衛生アイテム紹介 FCCムシポン

左の記事でご紹介しましたノミバエやショウジョウバエなどを始めとしたコバエ類にお悩みのお客様にお勧めしたい商品が、FCCムシポンです。

FCCムシポンは、従来の電気で殺虫するタイプとは違い、虫が好む光で誘引し、専用の捕虫紙で捕らえるタイプの為、法的規制を受けず、設置場所を選びません。

また、殺虫剤の様に人体への影響や危険が全くありませんので、どなたでも安心してご利用頂けます。

設置方法や専用捕虫紙の交換方法も非常に簡単ですので、コバエ類など飛来昆虫にお困りのお客様には非常にお勧め商品です。

今回、従来の吊り下げタイプ(横型)とインテリアタイプに加え、縦型タイプの取り扱いを開始しました。

設置場所の幅が狭いなど横型での取り付けが難しい場合にお勧めです。専用のスタンドで床に据え置きする事も可能です。



FCCムシポン MPX2000T型

最小発注単位：1台
入数：1台
サイズ：690x75x230
規格：ステンレス
送料：実費
単価：¥24,675 (税込)
通常販売価格：¥31,790 (税込)

【灯火に飛来する気になる不快虫】

夏から秋にかけて網戸はあってもどうした訳か、室内の灯火に集る虫達の姿が増してくる。その虫も数匹だと興味津々なのだが、電灯の周りを飛び交い始めると嫌気を感じる。だが、灯火に虫が集る状況はホットする。

夕涼の道すがら眼にする街頭の虫、キャンプ場の明りに飛来して舞う虫達は、季節感をもたらす風情がある。このように「光」に引きつけられる虫達はどんな虫達なのか気になる所である。それらは、ユスリカ類、蛾(ガ)類、ウンカやヨコバイの類、アブラムシ類、アリ・シロアリなどの羽アリ、ガガンボウ類、カゲロウやカワゲラと云った水棲昆虫類、さらにクワガタやカブトムシの類にまで及び非常に豊富である。

虫の好きな人達にとっては「夏の夜の灯火」は楽しさいっぱいの源である。しかし、そんな虫も場所やその性状によっては、手放して喜べないものも居る。「光」に集る虫達の良し悪しを断ずる前に、この虫達の「光」に対する面白い性質を紹介する。

それは、全ての虫が「光源」の一番強い所にだけ集るのでは無く、虫の種類によって、それぞれが適当な「光量」の場所を選ぶ性質があると云うことだ。この事は「光源」からの位置によって、そこに居る優占種が異なるということなのである。この性質を知ることは、上手な虫との付き合い方を選ぶヒントである。

灯火と関係する人にとって「悪い虫」については過去にこの紙面でハネカクシ、ドクガの例を紹介した。今回は、環境問題ぐるみで厄介な不快虫、ユスリカを紹介する。

ユスリカと云う虫

ユスリカと云う虫は蚊に近い飛翔昆虫であって、外観状は「蚊」と殆んど見分けがつけにくい。しかし、蚊のように人から吸血することは無い。この発生源は、河川、池沼および水田などの水系である。問題になるのは成虫であって、日没時に群飛し、蚊柱を作って「灯火」に向って飛来するからである。

この虫は昔から居る虫で、世界に約8000種が知られている。日本でもかれこれ100前後が知られている。わが邦で防除対象となっている主要な種類は地域によって異なるが、セスジユスリカ、オオユスリカ、アカムシユスリカである。なかでも、最もよく知られているのはセスジユスリカである。

ユスリカの生活史

ユスリカは冬期でも見られるが、活動が盛んになり産卵するのは5月から10月で発生回数は早に9回前後である。産卵は一生に1回で、卵塊はゼリー状で長さが12~18ミリの円柱状をしている。1卵塊は300~650個の卵を含み、平均500個前後で早朝か夕方に産卵する。その生活史はおおむね次のようである。

- * 卵期間.....2日間
 - * 幼虫期間.....17~22日(4回脱皮)
 - * 蛹期間.....2日
 - * 成虫の寿命.....3~5日
 - * 一代所要日数.....40日前後
- 幼虫期間は種類により異なり、10日~数ヶ月におよぶ場合もある。

ユスリカの害

ユスリカは害虫なのか？この害、益は状況や人によっても大きく異なるようだ。成虫は別としても幼虫は益虫だと云う人も居る。幼虫は別としても、都市河川や天然あるいは人造湖から多発する成虫は、しばしば問題を起している。異常多発生したユスリカが家屋周辺に群り、あるいは侵入した場合の不快感は吸血の害と質的な違いは無い。また、構造物の汚損、生産施設に侵入し製品の汚損を引き起こすなど、経済的被害は少なくない。

観光地で経済的被害を受けた例だが、フロリダ州のサンフォード市は、市の中心部がモノー湖から200メートル以内であって、ホテルや住宅のユスリカ対策に年間400万ドルを支出しているという。わが邦でも例外では無く、湖畔の市町村、堀のある城下町のユスリカ対策費、東京都では神田川水系のユスリカ対策は少なくないものであった

ユスリカは環境の都市型化がもたらせた「公害昆虫」とも称された。「光」がなければ問題は起こらないが「灯火」は文化である。この不快虫とどう付き合い合えば良いのか？



〔写真説明〕

ユスリカの成虫。この虫、環境の都市型化により水系の汚損がもたらしたものである。厄介なのは、灯火に向ってやって来ることだ。

FCCブログ — FCCの代表、深澤正司の『湘南ではたらく小さな会社の社長blog』より

プラス思考

当社の社員達は、だんだん定着率が良くなって来ました。辞めていく社員が少ないです。この業界にしては最高だと思います。

ただ、昨年の新卒社員のように場違いな会社に入ってしまった場合は論外です。でもそこは私の反省で、就職難でどこでもいいから入りたいと言う社員はご遠慮頂くようにしっかり面接をしています。

でも立上げの営業所は今でも、本社も今までは中途採用です。その社員達に考え方や私が失敗してきた事を伝えます。その中で一番大切なことはプラス思考です。

でもプラス思考って言っても、嫌なことがあったら落ち込みますよね？辛い事があったら凹みますよね？そんな時も常に前向きに明るくニコニコって凡人には難しいです。

生意気にも私が社員達に伝えているのは、現状を受け入れることを言ってるだけです。今ある状況や現在の立ち位置に満足すること。

色々研修に行ってもらっても根本が分からない社員は辞めていきました。大概愚痴がでます。今残っている稀少(笑)な社員達はみんな分かっています。

例えば当社でもいろいろあります。業種的に朝が早い。夏が忙しい。中小企業だからいろいろやる事がある…etc

でもそれを例えば、色々やる事があって面倒くせえ〜な、とか大変だなあ、ではなくて「ああ中小企業だからいろいろ経験できて良かった」と思えるようになったら、たぶん人生全部好転する様な気がします。

反対に大企業に行って、ルーチンワークに明け暮れたりすると、そう言う奴はそこでも絶対文句言います。「同じ仕事ばっかですまんねえ〜」って。いろいろ言えます。「給料安くてやってらんねえ〜」とか。なんでも言えるんです。

それずっとやんの??

どっかで考え変えなければ幸せになれないだろ、って。今の若い人達はバーチャルなんで少し嫌なことあるとすぐリセットしようとしています。でもリセットなんて本当は効かない。自分の考え方が変わるまで繰り返すだけです。

他人と比べることなく、今俺はこんなに幸せなんだって気が付くとパラダイスです。だから愚痴なんてずーっと言ってたって自分にはなんにも良い事はないです。無駄って話しです。

今あることに少し満足すればいいだけです。本当に簡単なプラス思考です。

パソコンからFCCブログをチェック！

FCCニュースに掲載しているブログの記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

FCC ゴキブリ駆除

検索

FCCブログ — FCC施工スタッフの『Aちゃんブログ』より

大変の中に

仕事って大変です。色々悩みます。

私は、期間が関係なければかなりの数のアルバイトをしてきました。当時は、楽しんである程度遊べる分の金稼げれば良いと思っていました。

しかし楽な仕事なんて一つも無かったですねえ。

その中でも、良く道に立っているマンション案内の看板持ちなんかもありましたが、1日その場にいるのは相当苦痛でした。見た目は楽そうなんですけど現実には厳しかったです(笑)

何やっても厳しく辛いものです。しかし、その中に楽しさがあるのだと思います。自分で見つけていくしかありません。その時辛いと思っていた事なんて解決してしまえば、なあって事ない事が殆どです。

昔の話になりますが、ママチャリで長野まで行った先の山小屋の住人が「厳しい事や、無理して辛かったのを乗り越えた充実感や達成感はこの先絶対忘れないゾ」なんて酔っ払って言っていました。

辛い事柄を辛くするのも、楽しく、良き事柄や忘れない思い出にするのも自分自身です。他人様は絶対にやってくれません。

人生をフルコースで深く味わう為にいくつものスパイスが誰にも皆用意されていて。。。♪♪との歌詞が頭に浮かびます。

砂糖ばかりで甘、甘の人生にならない様に努力のみです！！